

二月十日に、なむらしやう内相の宅いへにして、ほつかいだいらし渤海大使

おののたもりあそみち小野田守朝臣等にせん饑する宴うたげの歌一首

### 四五一四番

あをうなはら青海原 かぜなみ風波なびき ゆく行くさ来さ つつむつつむことな

ふね舟は早はやけむ

七月五日に、ちかみのせうふおほはらのいまきまひと治部少輔大原今城真人の宅いへにし

て、いなばのかみおほどものすくねやからち因幡守大伴宿禰家持せんに饑する宴うたげの歌一首

### 四五一五番

あきかぜ秋風の すゑふ末吹きなびく はぎ萩の花 とも共にかざさず

あひ相か別わかれむ

右の一首、おほどものすくねやからち大伴宿禰家持作る。